



DAIHATSU



2015年8月12日
(1/2)

**ダイハツ、インドネシアで「セニア (XENIA)」をマイナーチェンジ
～新型エンジン、新開発プラットフォームを搭載、燃費性能と基本性能を大幅向上～**



セニア (XENIA)

ダイハツ工業 (株) (以下 ダイハツ) のインドネシアの子会社であるアストラ・ダイハツ・モーター (以下 ADM) は、インドネシア専用の多目的乗用車「セニア (XENIA)」をマイナーチェンジし、8月20日、インドネシアで販売を開始する。

「セニア」は、トヨタ自動車株式会社との初の共同開発車であり、2004年の発売以来、コンパクトなボディサイズながら大人7人が快適に乗車できるパッケージングや、お求め安い価格などがお客様からご好評いただいている、ダイハツの基幹車種の一つである。

今回のマイナーチェンジでは、新型エンジンを搭載。また、ダイハツがこれまで軽自動車で培ってきた低コスト化や軽量化の技術を展開し、独自でプラットフォームの刷新を実施した。新型エンジン、新開発プラットフォームにより、FR※車ならではの力強い走行性能を一層高めながら、燃費性能を約16%向上させ、同時に静粛性や操縦安定性、乗り心地も進化した。さらに内外装を刷新するとともに、小回り性やシートアレンジなどの使い勝手も向上している。

新型「セニア」の目標販売台数は、5,000台/月。小売価格は約1億5,100万ルピア～1億8,700万ルピア (約151万円～約187万円、税込み、100ルピア=1円換算 (8月4日時点)) で、販売はアストラ・インターナショナル社を通じて行う。

※Front Engine, Rear Driveの略

<新型セニアの主な特長>

新型NRエンジン(1.3L)/新開発プラットフォーム

ダイハツが軽で培った低コスト、軽量化技術を展開し、独自でプラットフォームを大幅に刷新。

- ◇FR車ならではの高い走行性能による、悪路走破性や多人数乗車時の登坂性
- ◇従来比約16%向上した高い燃費性能
- ◇進化した高い基本性能
 - ・騒音、振動の低減等による静粛性の向上
 - ・ボディ高剛性化、サスペンションの最適化等による操縦安定性、乗り心地の向上

デザイン

インドネシアでの好みを反映した、力強くスポーティなエクステリアと、質感の高いインテリア

使い勝手の良さ

- ◇最小回転半径4.7mの小回り性能(1.3L車)
- ◇コンパクトなボディサイズながら大人7人がしっかり乗れる室内空間
- ◇3列目シートの左右分割化による使い勝手の向上(1.3L車)

<主な諸元>

駆動方式	FR
エンジン	1.0L (989cc) (型式: EJ-VE) 1.3L (1,329cc) (型式: 1NR-VE)
トランスミッション	5MT/4AT
乗員定員(名)	7
全長×全幅×全高(mm)	4,190×1,660×1,695 (ベース車)

以上